

Idanha-a-Velha

について



写真: Aldeias Históricas de Portugal

イダーニャ・ア・ヴェリャ

さまざまな民族が次々この地域に定住した結果、イダーニャ・ア・ヴェリャ (Idanha-a-Velha) には極めて貴重な歴史的遺産が残っています。

現在、ここに見られる小さな村を訪れ、のどかな生活のペースを目にした人は皆、これがかつてエメリタ (Emerita、現メリダ (Mérida)) とブラカーラ (Braccara、現ブラガ (Braga))

とを結ぶイベリアの幹線道路にあり、繁栄を極めた古代ローマの町、キウィタス・イガエディタノールム (Civitas Igaeditanorum) だとは想像もつかないでしょう。エジタニア (Egitânia) では西ゴート族の時代 (6~7世紀) にレカレド (Recaredo) からロドリゴ (Rodrigo) までほぼすべての西ゴート王のために金貨が鑄造され、後にイスラム教徒の占領下のイダーニャ (8~12世紀) は大規模で、リスボンと同じくらい豊かな繁栄した町になりました。

その後、アフォンソ・エンリケス (Afonso Henriques) が再定住のためにこの町をテンプル騎士団に与えた時期、ポルトガル王国の最初の100年間にキリスト教徒とイスラム教徒との間に紛争が生じました。アフォンソ・エンリケスの息子、サンショ1世 (D. Sancho I) はその戦略上の重要性を認め、1229年にイダーニャに最初の勅許状を与えました。

やがて、軍事および戦略の中心に変化が生じるのに伴い、この町の規模は徐々に縮小していきました。しかし過去の雰囲気は失われておらず、むしろ文化意識の高い旅行者にとってはオープン・ミュージアムのようにあり、自分の訪問地リストに明瞭かつ整然とマークをつけることができるのに気づかれるでしょう。

問い合わせ先

ウェブサイト: <https://aldeiashistoricasdeportugal.com>

ソーシャルネットワーク <https://www.facebook.com/ALDEIASHISTORICASDEPORTUGAL>